



発行所 城南新報
〒611-0021 宇治市宇治里尻
TEL (0774)24-1221
FAX (0774)22-5754
E-mail jshinpou@ybb.ne.jp

宇治市を合意得て再開

宇治川 塔の島地区改修

人為的ミスオンパレード

淀川河川 土のう流失事故で報告

今年2月に発生した宇治川塔の島地区の河床掘削工事・仮設締切堤の土のう流失事故で、宇治市は2日、国土交通省の淀川河川事務所が市に報告してきた事故原因再発防止策を市議会建設水道常任委員会・中略初音委員長に伝えた。同事務所は設計、発注、施工、工事監督の各段階で、人為的ミスが重なったことを原因に列挙。工事再開に向けては関係各機関の合意を得られてから実施と記し、川端修副市長も「我々が『うん』と言つまで再開させない。その判断基準を作りたい」と述べた。

同事務所は原因として▽土堤部に必要な高さがなく、仮締切の構造として不完全▽特記仕様書の設計対象水位と入札価格算定設計図書参考図の締切構造の不整合▽ヒラミッド形式でなく直積しての土のう積み上げ▽現場で不整合に気付いた監督職員の上司への報告ミスなど詳細設計、工事発注、工事施工、工事監督の各段階で人為的ミス

が重なったことを挙げた。各段階でチェック機能が事実上、停止していたことを踏まえ、再発防止策として、詳細設計から工事発注段階でのチェックリスト作成など二重チェックの実施、施工上の配慮事項の設計図書への記載、関係者(発注者、設計者、工事請負者)による施工調整会議の実施などを列挙。同事務所は情報共有体制

を確立した上で事業を実施する。工事再開に当たっては、市及び関係各機関の意向を踏まえ、早期に説明を行い、合意を得られてから実施する」とした。市はこの間、同事務所に2度の申し入れを行い、横島地区掘削での土のう流出原因、宇治川堤防の安全性への懸念などがあることを指摘。同事務所は横島の土のう流失は増水による基準

オーバー、堤防と仮設締切堤の土のうは設計基準が別物である点などを口頭で回答したという。与野党委員から納得できない旨の指摘が相次ぐ中、川端副市長は「今回の報告書は他人事。我々が『うん』と言つまで工事は再開させない。その判断基準を作りたい。堤防に影響がないのかも疑問で総括をしたい」と簡単に工事は再開させない決意を表明した。

宇治川改修は1500トンの流下能力確保に向け、2015年度までの事業を予定しているが、既に土のう流失で塔の島地区が大幅に遅れ、昨年度に予定していた横島右岸堤防付近も未着手。今年度は10月15日以降の濁水期に宇治橋上流下流の河床を掘削する計画となっており、市や関係機関の了承が得られるか否かが工事進捗の鍵となる。